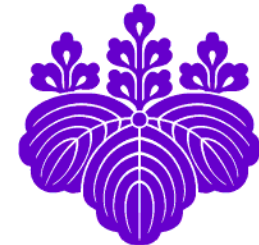




運動部活動における生徒の学習権 に関する一考察

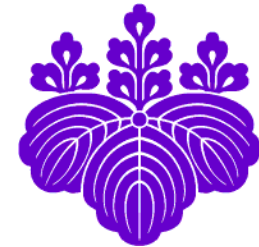
-教育条件としての指導体制に着目して-

○平塚卓也 小田樹 前田正太
筑波大学スポーツ政策学研究室
(齋藤健司・成瀬和弥・松畑尚子ゼミ)



序論

- 研究の動機
- 用語の規定-学習権とは-
- 研究の対象
- 研究の目的
- 先行研究の検討
- 研究の課題



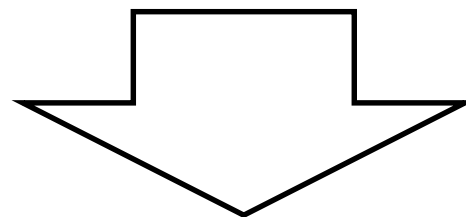
運動部活動の現状

学校教育の一環

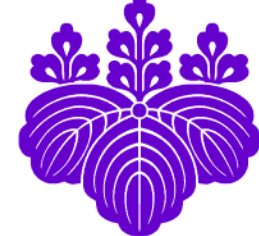
スポーツの実践
を通じた様々な
効果

中学生64.1%
高校生42.1%

平成23年度文部科学白書

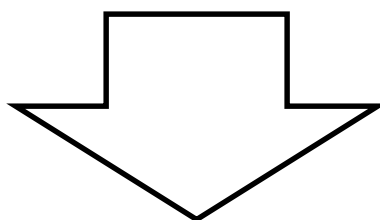


教育活動の一環として
活発に行われている



運動部活動の課題

- 顧問からの体罰を背景とした生徒の自殺
- 教員の高齢化・多忙化による指導者不足
- 顧問教員の異動による休部

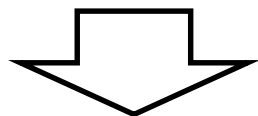


運動部活動の指導体制に係る問題が
近年指摘されている

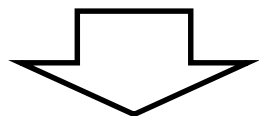


学習権の視点

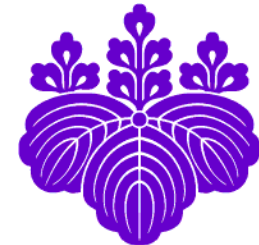
生徒の自発的な活動というだけの
問題ではなくなった



教育行政側が関与する必要があるが、
どこまで関与するべきなのか



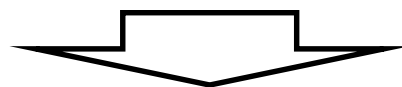
生徒の教育を受ける権利
(学習権)の視点から捉える



用語の規定-学習権とは-

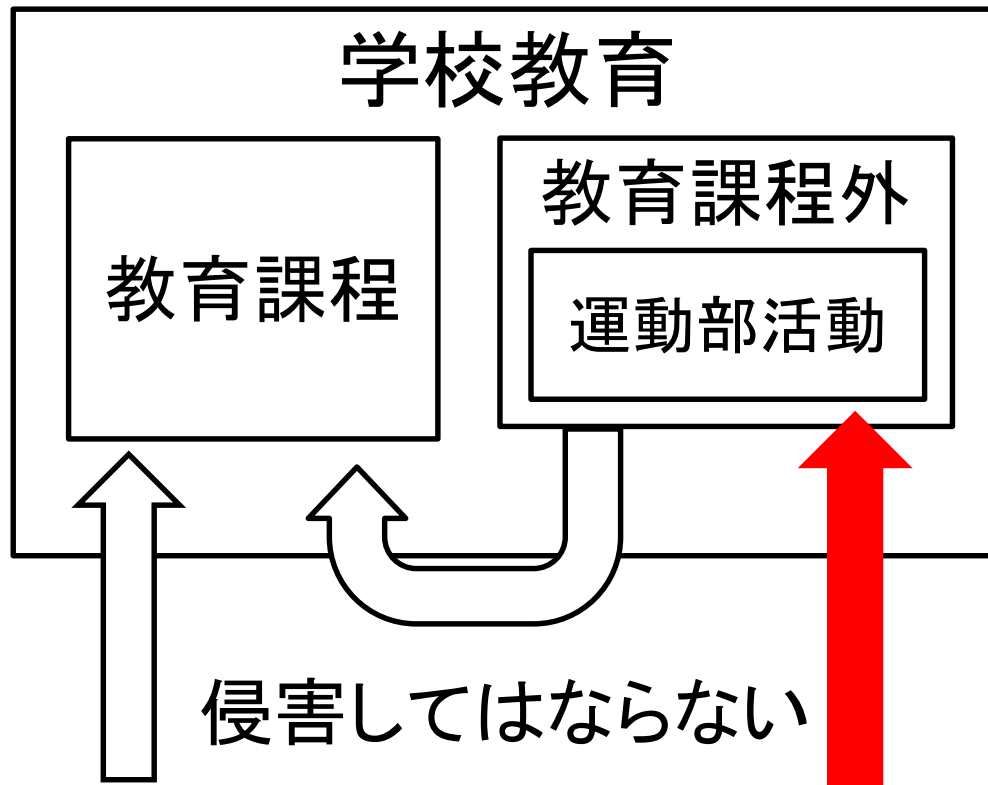
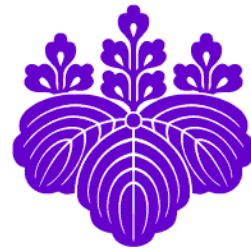
ユネスコ「学習権宣言」(1985)

「学習権とは、読み書きの権利であり、問い続け、深く考える権利であり、想像し、創造する権利であり、自分自身の世界を読み取り、歴史をつづる権利であり、あらゆる教育の手だてを得る権利であり、個人的・集団的力量を発達させる権利である。」



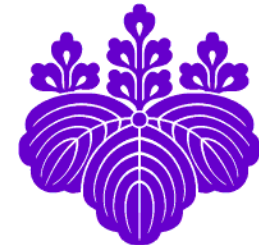
人間の成長、発達にとって不可欠な権利

学校教育における学習権の保障



まず保障されるべき

こちらも保障されるべき



研究の目的

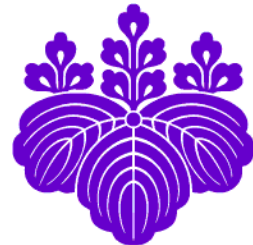
運動部活動における生徒の
学習権の内容を考察する

現在の教育条件における
保障状況を考察する



先行研究の検討

- スポーツの学習権に関する研究
辻田(1989)及び辻田(1992)など
→運動部活動については検討していない
- 運動部活動に関する研究
内海(1998)、西島(2006)、中澤(2014)など
- 運動部活動の指導体制に関する研究
中澤ら(2007)、森田(2011)など
→学習権の視点を交えた考察をしているものはない



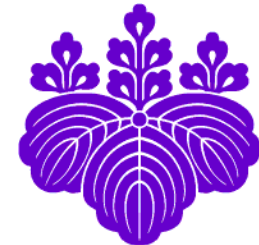
研究の課題

1. 運動部活動の実態や
指導体制の現状を把握
2. 運動部活動における学習権の内容を考察
3. 生徒の学習権がどの程度
保障されているのかを考察
4. 生徒の学習権が今後どのように
保障されるべきかについて政策提言



本論

- 運動部活動における指導体制の現状
- 運動部活動における学習権の内容
- 運動部活動における生徒の学習権保障の現状と課題



運動部活動における検討事項

管理顧問

外部指導者の活用

複数校合同運動部活動

総合運動部活動

総合型地域スポーツクラブとの連携や移行

学校関係者全体や保護者等との連携



指導体制の実際

- 教員は、専門的な指導力の不足

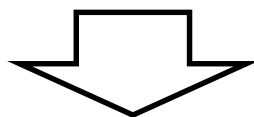
公団法人日本体育協会指導者育成専門委員会（2014）

- 外部指導者は、学校教育に対する理解不足

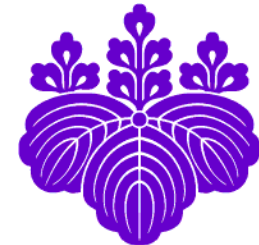
森田（2011）

- 指導体制の整備は種目によってのばらつきが生じている

公団法人日本体育協会指導者育成専門委員会（2014）

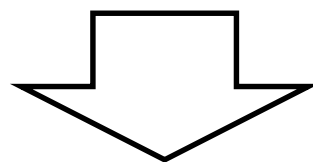


教育条件は十分に整っていない

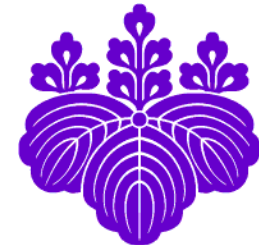


運動部活動の権利性

生徒の全人的な発達に有用



学習権の保障の対象としても
その権利性を見いだせる



運動部活動における学習

スポーツの技能の習得

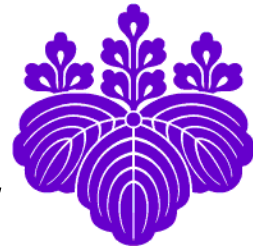
→スポーツの専門的指導

生きる力の習得

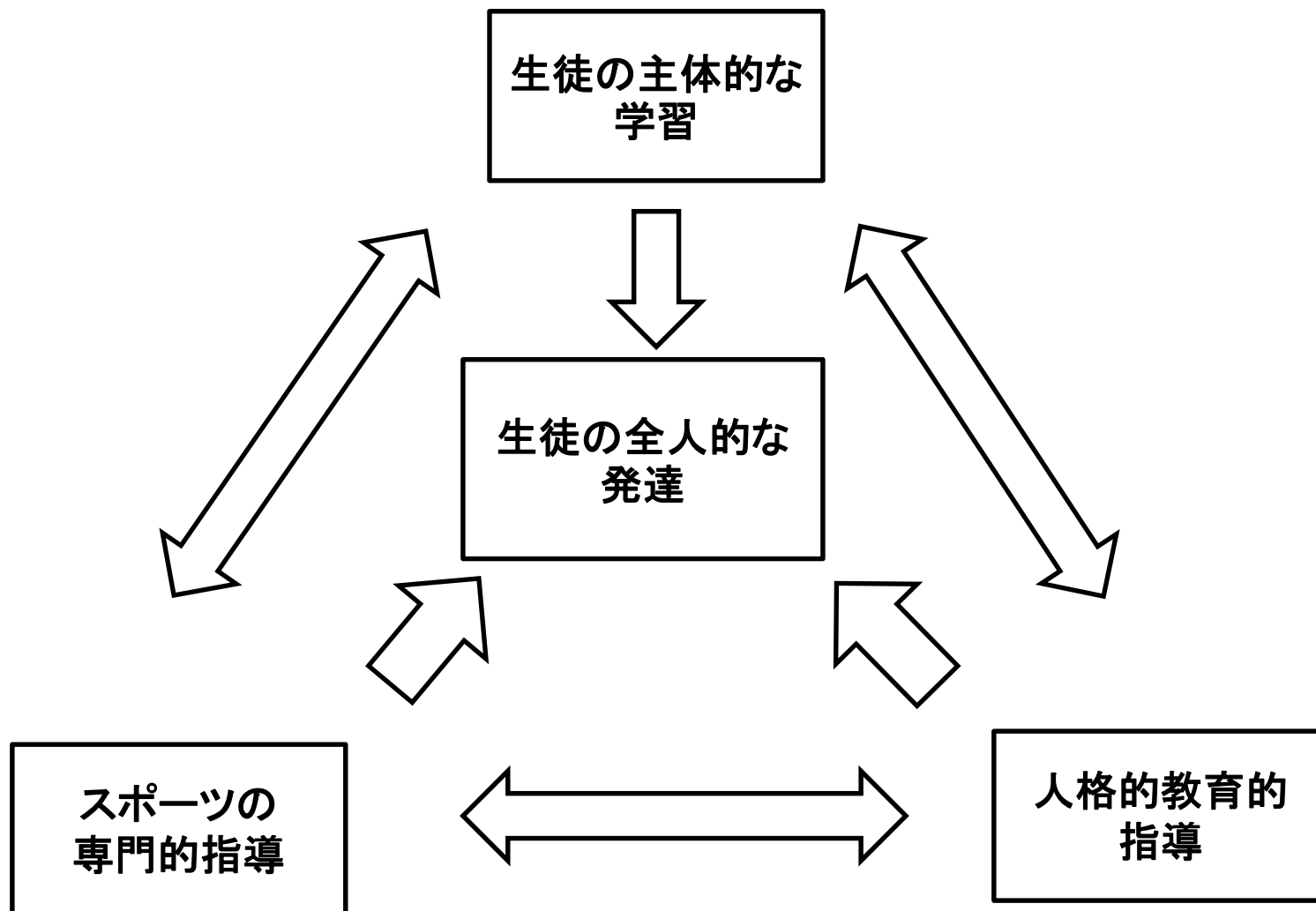
→人格的教育的指導

さらに

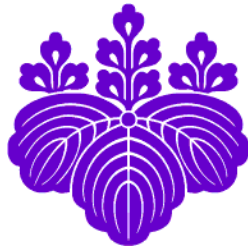
生徒の意欲や主体性が重要



運動部活動における学習権の内容

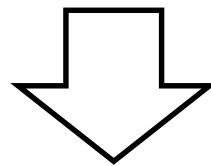


運動部活動における生徒の学習権保



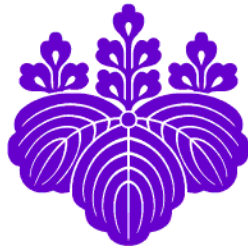
学習権を保障するとは、
学習の質を保障すること

日本教育学会編(1981)教育権と学習権

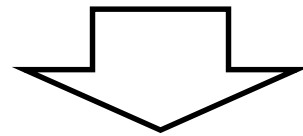


三要素のそれぞれの質を
バランスよく一体として保障

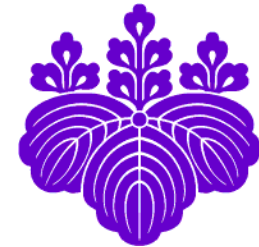
運動部活動における生徒の 学習権保障の現状と課題



教育条件は十分に整っていない

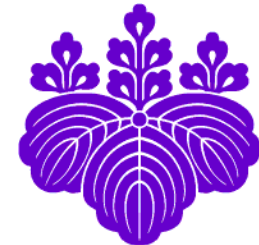


生徒の学習権は十分に保障されていない



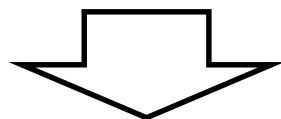
結論

- 政策提言



文部科学省の取り組み

「運動部活動での指導のガイドライン」
「運動部活動指導の工夫・改善支援事業」



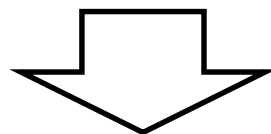
運動部活動における指導体制の改善



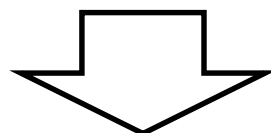
制度改革の必要性

「運動部活動での指導のガイドライン」

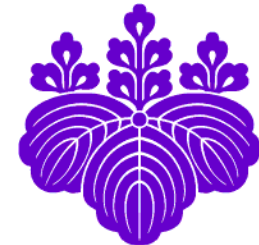
・・・個別の提言を羅列



三要素を一体として扱うべき



制度改革
3つのモデルの構築



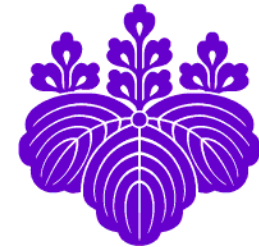
3つのモデルの構築

運動部活動三要素中心総合診断モデル

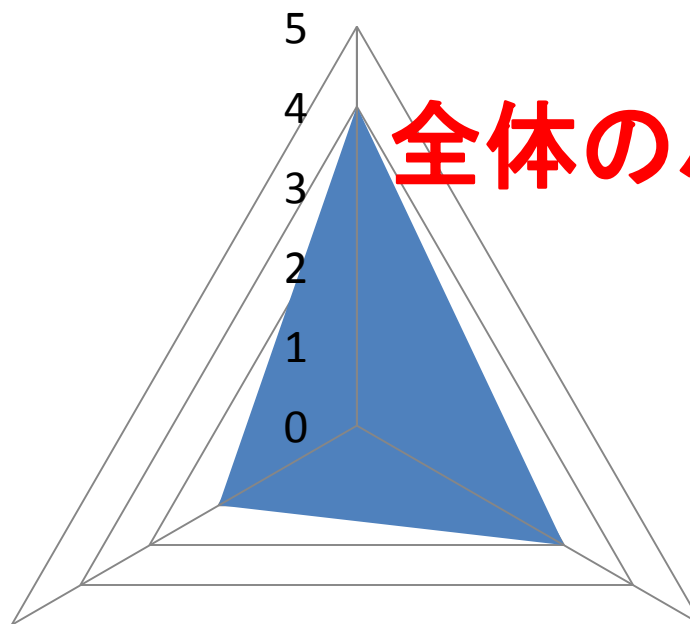
三角錐型統合連携診断モデル

選択的バランス改善スキームチャート

運動部活動三要素中心 総合診断モデル



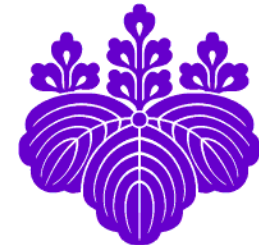
生徒の自主的な学習



全体のバランスを診断

スポーツの専門的指導

人格的教育的指導



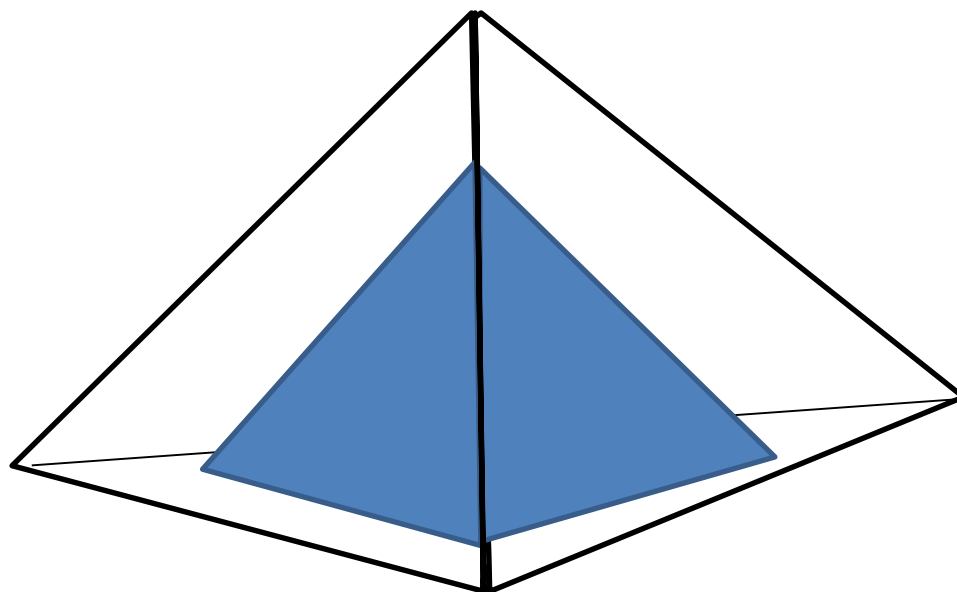
スポーツの専門的指導

診断項目例

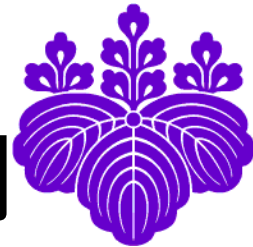
- 当該スポーツ種目の指導力
- 指導の頻度
- 科学的な指導内容、方法を取り入れているか
- 多様な指導能力を持っている
- 指導力向上の努力をしているか



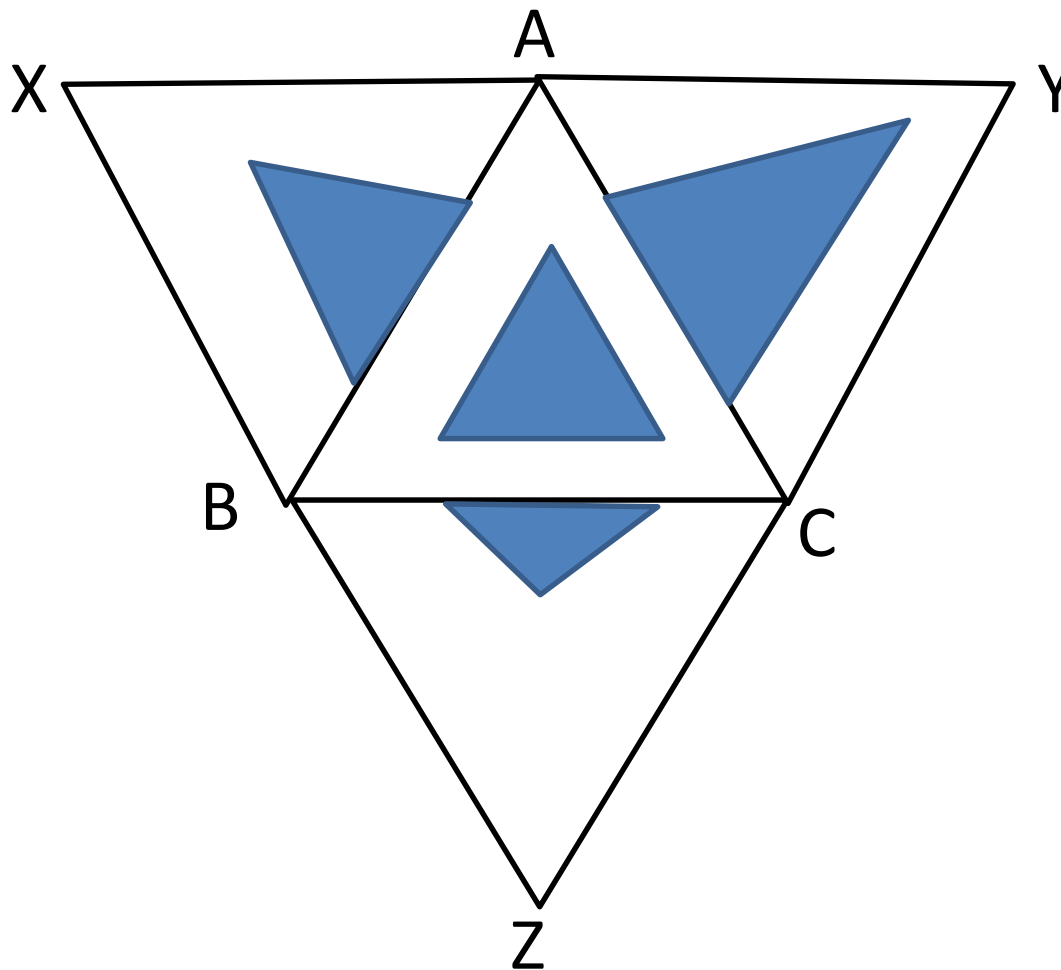
三角錐型統合連携診断モデル

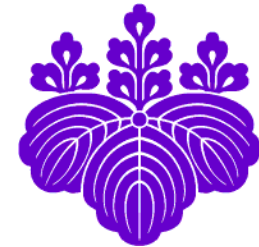


複雑な関係性を視覚的に捉える

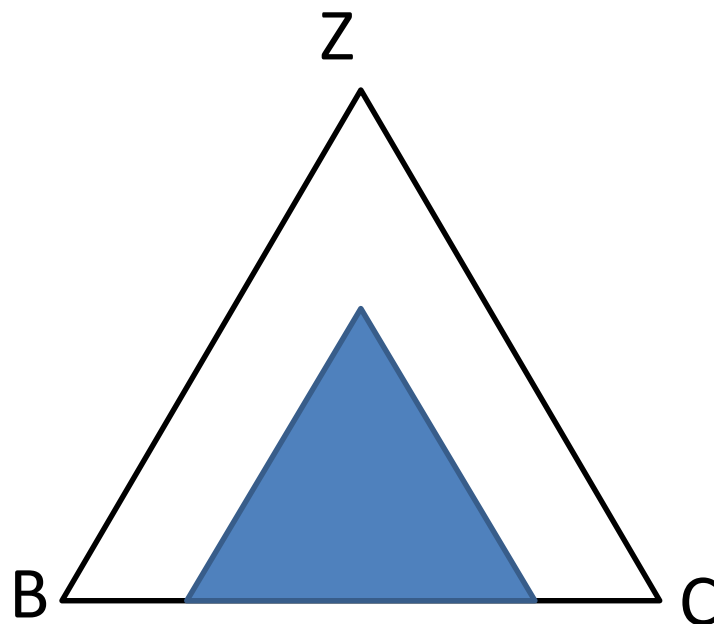


三角錐型統合連携診断モデルの展開



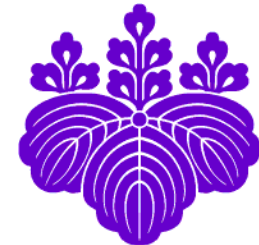


2者間の関係性を診断



B 教師
C 外部指導者

BC間の関係性が良ければZ方向へ

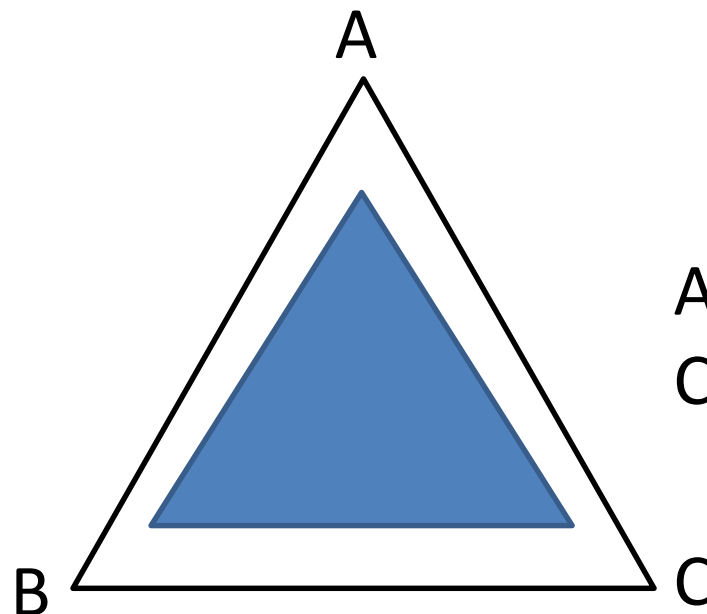


診断項目例

- 部活動の目標や方針を共有している
- 具体的な指導の内容や方法を共有している
- 生徒の状況を共有している
- 事故が発生した時に対応について共有している

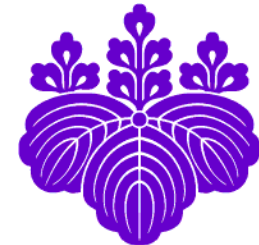


3者間の関係性を診断



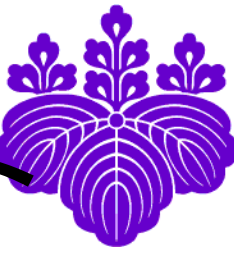
A 生徒 B 教師
C 外部指導者

ABC間の関係性が良ければ面積が拡大



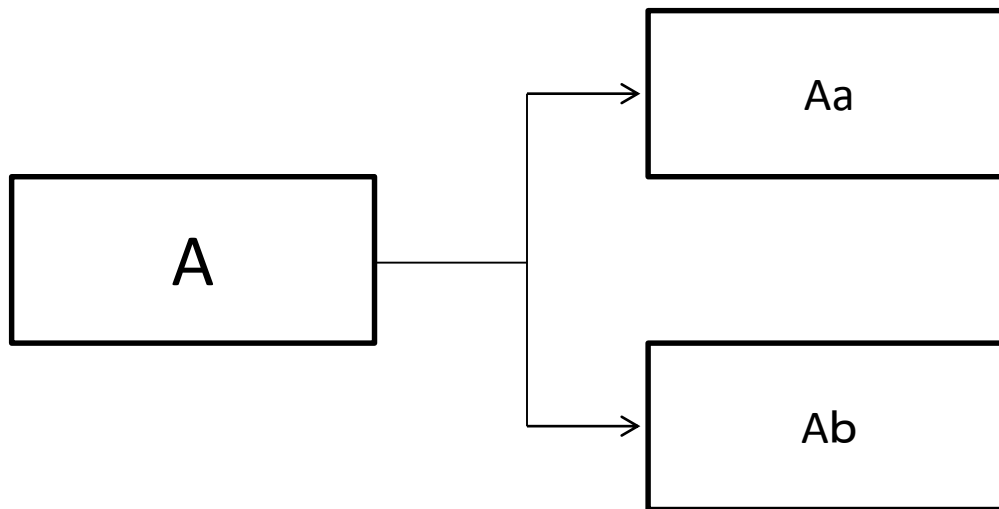
診断項目例

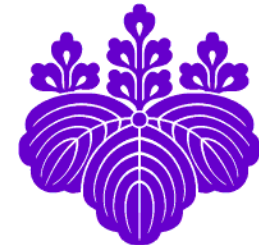
- 話合いの場があるか
- 部活動の目標、方針に対する共通理解があるか
- 活動計画に対する共通理解があるか
- 部活動内に規則等があるか



選択的バランス改善スキームチャート

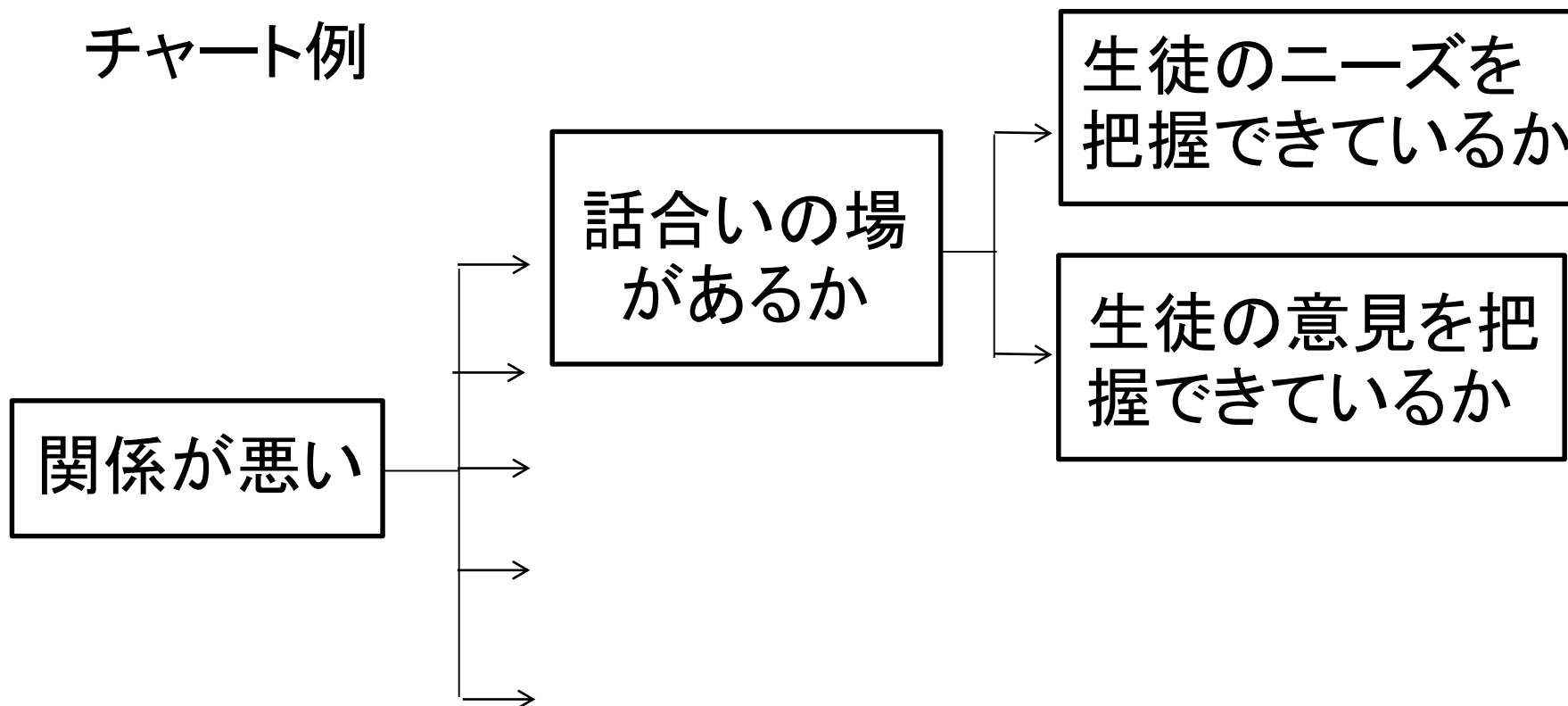
2つのモデルでの診断後、そのバランスを改善するための策を示すチャート





生徒と指導者間の関係改善

チャート例



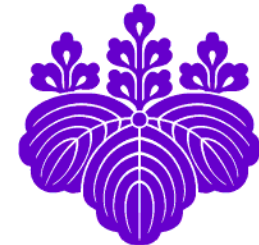


3つのモデルの構築

運動部活動三要素中心総合診断モデル

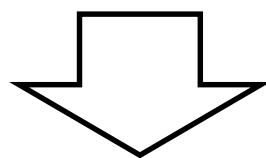
三角錐型統合連携診断モデル

選択的バランス改善スキームチャート



今後の展望

運動部活動は、総合的な学習の場であり、
単にスポーツだけを学ぶ場ではない

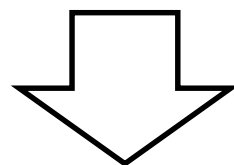


運動部活動の独自性を保っていく必要性



今後の課題

運動部活動には多様な要素がある



他の要素を検討する必要性



ご清聴ありがとうございました